

当資料は大阪機械記者クラブ・自動車産業記者クラブにて資料配布をさせていただきます。

平成 19 年 10 月 23 日

報道関係各位

救助活動の迅速化と安全性向上を実現
モリタ「はしご付消防自動車の梯子の制振制御装置」を開発
～特許出願中～

株式会社モリタ

消防用車輛の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタ(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博、東証・大証1部)は、この度、はしご付消防自動車の梯子の揺れを抑制する装置を開発しました。

本開発品「制振制御装置」は、梯子に発生した揺れを検出し、瞬時にその揺れを打ち消す制御を行うことで、梯子の揺れを抑制する装置です。制振制御をしない時に比べ、振動の減衰時間を約 1/3 に収めることができます。これにより、梯子の揺れが大きくなる梯子動作の高速化にも対応でき、より安全で、スピーディーな救助活動を行うことができます。

弊社は、これまでも、独自の開発によって様々な装置を開発してきました。特に、はしご付消防自動車においては、自動的に梯子の旋回部分を水平に保つ「ジャイロターンテーブル」、急激な動作による危険を防止する「操作速度自動制限装置」、誤作動による事故を防止する「インターロック装置」など、様々な現場に対応できる装置を搭載し、高い機動力、信頼性を誇ってまいりました。弊社が誇る高性能はしご付消防自動車「スーパージャイロラダー」シリーズは、地上高 10m から 50m まで 5m 刻みでラインナップされており、現在日本全国で活躍するはしご付消防自動車の約85%以上を占めます。

モリタでは、今後も様々な技術開発により救助活動の迅速化と安全性向上に勤めていきたいと考えております。



※写真中央部の赤色の部分が開発装置です。

本装置を報道関係の皆さまにご覧いただくために、2007年10月24日(水)～30日(火)の間に幕張メッセで催されます「第40回東京モーターショー2007」の屋外展示場(ブース NO.OE04)において、本装置を搭載したはしご付消防自動車の実演を開催させていただきます。

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタ 広報室 担当:浦野 TEL:03-5777-5088